



～やればできる～

伸びゆく我ら

令和5年1月11日発行

第20号

文責：校長 石橋博道

【1月の生活目標】日本一の返事とあいさつをしよう！

## あけましておめでとうございます

### 本年もどうぞよろしくお願ひいたします

年末年始はどのように過ごされたでしょうか。年末は、終業式の日に積雪という予報から、前日のうちに通知表をお渡しするという事態になりました。ご心配をおかけしました。幸いさほど積もることもなく大丈夫でした。しかし、場所によっては凍結し、登校や通勤に支障が出た地域もあったようです。

一転年明けは、寒さが和らぎ、少しずつ以前の正月の光景が戻ってきたように思います。恒例の箱根駅伝の沿道の大観衆を見て、1日の感染者数が1万人を超えている大都市であっても、コロナに対する構えが変わってきていると感じました。しかしながら、一方で、身近なところで感染が広がっているという現実もあります。長崎県の感染者数も、1000人を超える日が続いています。決して油断することなく、これまでどおり感染対策を怠らずに、「子どもたちの学びを止めない！」をモットーに、2023年も元気に頑張っていきたいと思ひます。

また、例年と大きく変わったのが、「成人式」あらため「二十歳の集い」です。成人年齢が18歳に引き下げられたことに合わせてのことですが、やはり、二十歳という年齢を一つの大きな区切りと捉える意識は簡単には変わらないようです。また一方で、18歳、高校3年生で成人を迎え、様々な権利を行使できるようになったことへの認識はまだ十分に理解されていないかもしれません。ある意味心配です。

今の子どもたちが、成人になっている10年後はどんな世の中になっているでしょう。想像もつきません。でも、社会環境が変わっても、しっかりと生きていけるだけの力を付けさせなければと責任を感じたところです。今年も、保護者の皆様としっかりと手を取り合せて、伊良林っ子を育てていきたいと思ひます。これまで同様のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 始業式講話

始業式で、次のような話をしました。

「お正月」の意味を『正』の字から考えてみましょう。

『正』・・・二つの漢字からできています。『一』と『止』です。

※このように二字以上の漢字の字形や意味を合わせてつくられた漢字のことを会意文字といいます。

『一』・・・ 目標を定める。

『止』・・・ 足の意味。まっすぐ進む。

ですから、「お正月」とは、目標（めあて）をしっかりと定めて、その目標に向かって歩き出すときなのです。

また、『正』という字には、「きちんとする」という意味もあります。

それに「一年の計は元旦にあり」という諺もありますね。

皆さんも、一年の目標（めあて）をきちんと定めて、目標に向かってしっかりと頑張る一年にしましょう。

さて、そこで保護者の皆様に四つのお願いです。

まず、お子さんの目標をまだお聞きになっていない方は、是非「今年のあなたの目標はなに？」「どんなことを頑張るの？」と尋ねてあげてください。

そして、もしもまだ目標が定まっていなかったら、一緒に考えてあげてください。

三つ目は、目標が「勉強を頑張る」「お手伝いを頑張る」のように漠然としているときは、決して否定せず、そのために何をすべきなのかを考えさせ、「家庭学習を毎日●●分」「風呂洗いを毎日する」といった具体的な行動目標を立てさせてください。

最後に、その目標（&行動目標）は、必ず紙に書かせ、机の前などの目立つ所にはらせてください。目標を立てるだけではつい忘れてしまうからです。常に目に見えるようにして意識させることが大切です。新年早々お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願ひします。